

シルヴィア・モーザー—音楽界のパワーウーマン

「私考」

「私は自らの才能とエネルギーのすべてを尽くして課題を喜び、楽しみながらこなします。意識開発のための学びが私の目標です。」

国立オペラ座歌手を両親とし、5歳でバレエを習い始め、間もなく国立オペラ座に「ヴォツェック」、「バラの騎士」で始めての子役としてデビュー。既に5歳にして、文化への道を選び進むことになる。

歌科課程終了後、彼女はレオンハート・ベルンシュタイン、ヘルベルト・フォン・カラヤンそしてサー・ゲオルグ・ソルティのような大物のもと国立オペラ座合唱団に出演。1980年デンハーグで行われたユーロビジョンソングコンテストに、“Blue Danube”と共演し、“Du bist Musik”でオーストリアに8位をもたらし、人気を集め始める。その後、コンサートゲボウ・アムステルダム、シュトゥットガルト、レーゲンスブルクのオペラ座でのコンサート、そしてドイツ、オランダ、スイスやデンマークでの6つのツアー、数え切れないほどの ORF、WDR、RAI やハンガリーテレビ放送のテレビ番組に出演。1998年、指揮者兼ピアノ奏者の夫、パウル・モーザーとともに、ウィナーレジデンツオーケストラを創立、1998年から年間850回ものコンサートをパレス・リヒテンシュタイン、アウエルスペルク宮殿、ウィーンコンサートハウス、ウィーン楽友協会、ウィーン証券取引場、ロブコヴィッツ宮殿にて開催。アルゼンチン、ウルグアイ、タイ、ベルギー、フランスにてオーケストラツアー。イタリアの RAI の番組では、マルクスプラッツでオーケストラとともにライブでも演奏。

シルヴィア・モーザーは、2012年に「マニプレーションではなくモチベーション」というモットーを掲げて教育改革案を執筆。詳しくは www.sylviamoser.wordpress.com ブログにて。

シルヴィア・モーザーは、更に多数の科学テーマ、特に神経科学に関心が高く、趣味は、あらゆるジャンルの音楽鑑賞、読書、ハイキング、水泳、スタンドアップパドル。ミニゴルフは少女時代から大好き、得意で、何度もオーストリアナショナルチャンピオンになる。

操縦範囲4内20メートルまでの世界的船長ライセンスを取得し、「狂ったように至る所を航海」。